

インフルエンザの大流行。学年でも他学年でも試験期間中に罹患してしまい、後日受験をしている人がちらほら。これから寒くなる一方。厳重警戒



来週の予定



※ 27日(木)に行われる自転車安全教室は、現役のスタントマンの方が目の前で事故を再現します。自転車の運転にまつわる事故や危険を教えてください。思わぬ事故で被害者にも加害者にもなりうる身近な乗り物です。自転車事故で1億円に近い賠償命令が出されたケースもあります。加害者にならないことは勿論のこと、被害者にもならないように有意義な時間にしてください。なお、安全教室が雨天で中止の場合には、通常授業になりますので、5・6校時の授業準備を忘れずに持参してください。

冒頭にも書いた通り、インフルエンザの流行は終息の兆しも見せずに、区内の小学校を中心に学級閉鎖・学年閉鎖が続いているようです。後日受験の人達も病み上がりの中、頑張って試験を受けている状況が続いています。本来ならば、テストが返却されていてもおかしくないわけですが、今学期はテスト返却がずれ込む予定です。そんな時、みんなはどうしたらいいか。いつもなら授業の中で返却され、回答率の低かった箇所などを中心に、教科担任の先生方が詳しく説明してくれるところですが、今回は模範解答を掲示され、テストは担任の先生方から一挙に返却されるかもしれません。勿論、模範解答を見て理解できる部分ならそれでよいのですが、『何点取れた』とか『点数悪かった』という感想だけでテストの振り返りをしないと、今後の理解度に影響が出てきます。定期考査が終わってほっと一息入れているみんなに読んでほしい文章があります…



裏面に続く

会」を学べば、この水がどこから来たのかがわかり、そして世界にはこのきれいな水を飲むことができない人達がいることを知れ、「美術」を学べば、この水の反射を綺麗に描くことができるようになるし、「音楽」を学べば同じコップでも水の量で音を変えることにも気付ける。「技術」を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないのかがわかり、人の創造の凄さを知ることができる。「家庭」を学べば、この水の様々な使い方がわかって、「保健体育」を学べば、この水が体にどれだけ大切なのか、健康を支える命の正体が見えてくる。「道徳」を学べば、この水を誰かと分け合うことの大切さを学べて、思いやりの心が育ち、「国語」を学べば今私が話した全部の意味を正しく理解できるようになる。「英語」を学べば、この話を世界中の人と分かち合えるようになり、「哲学」を学べば、この話に何の意味があるのか考えられるようになる。でも、もし何も学ばなかったら…。このコップの中にあるのは「ただの水」で終わる。だから勉強するの。この世界を、ただ見ているだけの人生で終わらせないためにね。

今きみたちの前に水の入ったコップがあったら、どんなことを考えますか？

お年寄りのつぶやき

東北地方を中心に、連日ニュースではクマの出没情報が飛び交ってる。年周期でクマの餌になるどんぐりが不作になる年があるようで、今年はクマの生息している山にドングリが不作のために、人里にクマが現れているとのこと。去年は餌が豊富だったことから、いつもより多くのクマが生まれたことも原因になっているそうだ。絶滅したニホンオオカミが生息していた時代は、クマに対抗する動物がいたけれど、オオカミが絶滅した現代の日本では、最強と言っている動物。猟銃でクマを駆除したり、箱罠で駆除しているようだけれど、いきなりクマが出てきたら、対抗する術を人間は持ってないです。本来なら冬眠に向けて爆食しているこの時期に、餌が無ければクマも死活問題。クマが可哀そうという意見もあるけれど、自分の生活圏にクマが出てくる地域の方にしてみれば、そんなことも言っていない。



かくいう我が田舎の山形県でもクマの出没が相次いで報告されている。先日の事、姉から映像が送られてきた。その映像に映っていたのは、田舎の湯野浜温泉海岸線を相当大きなクマが走っている映像…。しかも家から海に向かう階段から撮影された映像は、ランニングしたり海水浴によく行く場所。海岸線をさっそうと走るクマは、コントでクマの着ぐるみを着た芸人のようにも見えるほど人間っぽい。時期は5月になっていたから、GWに帰省する時には気をつけねば。子供の頃に山形に帰れば、山の中に入ってカブトムシやクワガタを取る罠を仕掛けたりして、こっちがクマの生息している場所に入りこんでいた。今じゃ相当危険な行為になってしまう。幸いなことに、マムシもカモシカも見ただことはあるけれど、クマやイノシシはこれまで遭遇しないで生きてきた。これからは遭遇しないでいたいもんだ。ちなみに、心配になって従弟に連絡したら、仕事場に向かう車のドライブレコーダーに映った、車の前を横切るクマの映像と共に「だいじょうぶだ〜」ってコメントが送られてきた。だいじょうぶなんかーい！！って思ったけれど、東京に住んでいる自分達と違って、クマの存在は身近なものなのだろう。ちなみにクマって九州にはいないらしい（本当かなあ）。この前、クマが泳いで海を渡っているというニュースがあったけれど、流石に関門海峡（本州と九州の間の海峡）は流れが速すぎてクマも渡れないのかも。関東で言えば千葉県にはクマの出没情報がないって知ってます？千葉県の周りは海に囲まれている地形と、クマが生息しているであろう他県との県境は、山間部から随分と離れている地形のため、山林も森も点在するけれどクマは出没しないらしいです。温暖な気候、釣り三昧、自然に囲まれた千葉県。移住するなら第一候補ですな。まあ、クマの代わりにキョンがいますが。キョンって知ってます？キョンってシカの小さいバージョンみたいな動物で、鳴くし、農作物を食い荒らすし、千葉県ではその被害が近年急激に増大している動物です。もともと千葉県勝浦市にあった観光施設「行川アイランド」で飼育されていたキョンが逃げたことから自然繁殖したらしく、前述した通り温暖な気候と餌となる草が豊富なことから、急激に数を増やしているそうだ。千葉にはよく行くけれど、知り合いの半農半漁のおじさんも、収穫間近の農作物を食べられたと仰っていた。しかしこのキョン、食べると結構うまいらしい。シカの仲間だから肉質もシカに似ていて、身が柔らかくて低カロリー高タンパクとのこと。それなら食べちゃえばいいじゃんって言ったら、もう食ったとのこと。さすが遅い。こんな毒にも薬にもならない話を学年通信にだらだらと書いている自分が、君達くらいの歳頃にコップの水の話を知っていたら、もう少しはまな話を書けるようになっていたのかなあ…。こうなりたくなかったら、みんな真面目に勉強しなさい(ー;))